

CO₂削減マニフェスト(取組内容)

大項目	小項目	具体的取組	2030年度までの数値目標
事業所の省エネ	エネルギー管理体制	エネルギー使用実績をグラフ化するなどして、従業員に周知する。	半年に1回周知する。
		デマンド監視装置等を利用してピークカットをする。	
		早めに空調を入れるなど、ピークシフトのための取組みを実施する。	
		月1回社内をパトロール、問題箇所があればその都度対応する。	
		退出時のチェックリストを作成し、消し忘れを防止する。	
	空調・換気	中間期は換気システムの熱交換をオフにする。	
		空調温度の適正化を実施する。	室温は夏季28度、冬季20度を目安にする。
		室内温度が一定になるようサーキュレータ等を併用する。	
		夏期は室外機に日除けをする。	
		スイッチに空調の範囲を明示して必要範囲のみ使用する。	
	ボイラー・給湯	-	
		-	
	照明・昇降機	昼食時、退出時等不用照明の消灯を全社的に実施する。	
		利用頻度の低い範囲は照明を間引きする。	
		スイッチに消灯範囲を明示し、必要範囲のみ点灯させる。	
		高効率照明(Hf 蛍光灯、一部LED)を採用している。	
		人感センサー(トイレ、屋外照明)を採用している。	倉庫に通路用照明を導入する。
		省エネタイプの誘導灯を採用している。	
	事務用機器・業務用機器・産業用機器	機器類は省エネルギーラベルのあるものを選ぶ。	
		コピー機は省エネルギーモードで運用する。	
トイレの暖房便座は節電モードにする。			
再生可能エネルギー・コージェネレーションシステム・建物の断熱等・BEMS	窓ガラスに遮熱シートを導入する。	北側窓にも拡大する。	
	-		
自動車	車両ごとに燃費を管理する。		
	毎月の社内定期点検で、空気圧をチェックする。		
	エコドライブを徹底する。		
	社有車の更新時はエネルギー性能の良いものを選ぶ。	22台中11台を更新する。	
低炭素な製品・サービス	購入	OA用紙、文房具類、衣料品、OA機器、事務用機器等調達の際にはグリーン購入をする。	
		-	
	製造・販売・提供	-	
		-	
	運送・廃棄	両面コピー、縮小コピー、表紙利用等による主体的な紙の使用量削減を実施する。	毎年、前年比-5%を目標とする。
		電子掲示板・共有フォルダ等利用で印刷を抑制する。	
		電子保管を推奨し、コピーや印刷の抑制をする。	
		分別ボックスの配置等でオフィス古紙・ごみ・資源の分別回収を行う。	
		余剰文具、事務用機器、使用済み封筒等を再利用する。	
		通い箱・袋(繰り返し使用する梱包材)を採用する。	
従業員教育・社会貢献	従業員への啓発	社員、臨時社員、アルバイト等に、採用時に当社の環境方針を説明する。	
		-	
社会貢献	毎週1回外周清掃を実施する。		
	-		
その他	節水	節水こまや節水型トイレを採用している。	
	節水	女子トイレに擬音装置を導入している。	